そろパソ通信

第205号　2026年10月

そろばんは頭をよくする魔法の道具。

Let's soroban（レッツ・ソロバン）

最近は夕方にふと窓の外をみるともう外は真っ暗…ということがよくあります。昔から「秋の日はつるべ落とし」と言いますが、このことわざは知っていますか？‘つるべ’とは井戸から水を汲むときに使う桶（おけ）のことで、ス～っと一気に井戸の底へ落ちていくように、秋は太陽がアッという間に沈んでしまうことを表しています。17時から19時は自転車や歩行者と自動車との接触事故が増えまる危険な時間帯なので、教室に通う生徒の皆さんは十分に気を付けてください。特に自転車の場合は必ずライトを点灯し常に安全運転を心がけましょう。自転車はクルマの仲間です、交通ルールを守り、安全第一で！



よくやった

第435回 全珠連主催 検定試験

試験日：令和８年９月27日（日）*アイウエオ順

祝 努力が実を結びました！

そろばん 珠算検定

合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
2級	長谷川瑚桃	南部中	二年生	高見
3級	興梠陽紀	中部小	５年生	塔ノ木

あんざん 暗算検定

合格級	名前	学校名	合格時の学年	教室
準参段	吉田花凪	牛久保小	５年生	高見
準初段	種井蒼汰	牛久保小	５年生	高見
1級	岡田一芯	牛久保小	５年生	高見
2級	興梠陽紀	中部小	５年生	塔ノ木
3級	原田和志	牛久保小	４年生	高見

合格 おめでとう！

９月検定では残念なことに多くの生徒が合格できませんでした。今回はその辺りのお話しを…。
最初に言えることは「３級以上の検定に一発合格できる生徒はそんなに多くない」ということ。特にそろばん検定は６種目を受験することもあり７級から４級までとはレベルも環境も大きく違ってきます。

検定試験になると実力を発揮できない

普段とは違う会場、周りの知らない生徒、隣で弾くそろばんの音…いつもの教室での練習とは違う非日常がプレッシャーとなり思い通りに指が動かなくなってしまう。その結果、普段なら絶対にしないミスを連発してしまう。合格できる実力はあるのに周りに飲み込まれてしまうケースです。

(対策)→まず普段の練習から「検定本番」を意識しながら真剣に取り組むこと。次に検定を複数回受験し緊張に負けないメンタルを養うこと。

特定の種目が弱い

見取り算の問題が１０問しかできない、少数の割り算になると指が止まってしまうなど、特定の種目だけを苦手とするケース。このような場合は、その種目に対する苦手意識がアタマから離れず、本番ではなおさら委縮してしまうことが多いようです。

(対策)→自分の弱点をきちんと理解し、ウィークポイントを克服するために集中的な補強練習を繰り返すこと。

３級以上の検定では正確性とスピードの両方が求められ、コンマ、小数点、四捨五入などを常に意識しなければならないし、小学生にとってはハードルが高い面があるかも知れませんが、練習を繰り返すことで必ず乗り越えることができます。そして、せっかく頑張って臨んだ検定が不合格になると少なからずショックを受けるのも事実ですが、一方で不合格という体験から学ぶことはたくさんあります。過去の事例をみても不合格を経験した後に一気に成長する生徒を何人も見てきましたし、なかには５回連続して不合格となり６回目で合格した生徒もいます。
検定試験は自分自身との勝負、おのれの心としっかり向かい合って、落ち着いた気持ちで検定に臨みましょう。

✓　次回の全珠連検定試験は令和８年11月29日（1～3級あんざんは25日＆26日）